

平成30年度 南アルプス市立大明小学校関係者評価書

第2回 学校関係者評価委員会

- 1 実施日 平成31年1月17日（木）午後7時00分～午後8時20分
- 2 会場 大明小学校校長室
- 3 参加者 学校関係者評価委員
石田敏枝（委員長） 杉山由貴子 市川和男
望月俊人 井上佐江子 石川 恵 岡本知子 （敬称略・順不同）
学校職員
保坂廣樹（教頭）＜校長職務代理＞
米山茂雄（教務主任）
- 4 学校から提案された内容
 - ① 学校経営について（教頭）＜校長職務代理＞
 - ② 学校の自己評価について説明
 - 保護者アンケート（教頭）＜校長職務代理＞
 - 教職員による自己評価（教務主任）
 - 児童アンケート（教務主任）
- 5 協議されたおもな内容
 - ◎ 教職員による評価、児童アンケート、保護者アンケート結果についての考察
- 6 協議の場に出された意見等

【教職員評価についての概要説明】

- ・**教育目標について** （本校の教育目標及び指導重点については、生きる力を育成することを目標としています。また、学校教育目標などが、児童・保護者に理解されるように配慮されているという項目で、1学期より向上が見られました。）
- ・**教育課程について** （道德教育は、「特別の教科 道德」の授業や教育活動全体を通して指導していくことを常に意識していきます。）
- ・**家庭・地域社会との連携について** 学校ボランティアの方に授業協力していただき、大変効果が上がりました。特に、毎週木曜日の朝に実施される（読み聞かせ）は、落ち着いた生活とやさしい心の育成に効果がある取り組みでした。また、毎日の登下校での、見守り隊の方々の安全確認により、地域で子供たちが見守られ、安全が確保されています。

【保護者アンケートについての概要説明】

- ・**＜全般考察＞** 全ての設問についてA評価及びB評価の肯定的評価が85%以上でした。さらに、11の設問でA評価及びB評価が90%以上でした。また、3つの項目でA評価及びB評価の肯定的評価が100%でした。この結果より、大明小学校の教育活動について、保護者の御理解や

御協力、地域の方々のご支援をしていただいたことがわかります。誠に心強く、それが今回の結果につながりました。

・＜学校経営・学校運営について＞設問２（学校は特色ある教育活動をしている）という項目は、A評価及びB評価が９７．９％でした。地域文化の伝承（大明小ばやし）や、本校の特色である縦割り班活動が、自己肯定感を向上させていると感じます。

・＜子供の様子について＞設問９「子供は学校に行くことを楽しみにしている」について、A評価及びB評価の肯定的評価が９５．８％でした。これからも、日々の授業の改善や行事の内容を精査し、子供達の自己肯定感を高める取り組みをしていきたいと考えています

【話し合いで出された御意見等】

①先生と子供達が一体となって頑張っている姿がみられます。また宿題などの課題も毎日適切に出してくれているので、家庭学習の習慣化にもつながっていると思います。

②大明小学校の文化発表会の中に、甲西中学校の２年生の学年合唱があります。これからもお互いの刺激にもなりますし、また小・中の連携という意味でも続けていってほしいです。会場全体の聴こうとする意識も向上しています。

③早寝早起きの項目で数値がやや下がっています。寒いので仕方がない面もありますが、家庭との連携を図って取り組んでいってほしいです。

④家庭の貧困問題について、目に見えない問題も含んでいるので、学校も注視して取り組んでいってほしいです。（学校は、貧困の連鎖を断ち切るプットホーム）としての役割を果たしてほしいです。

⑤運動会では縦割り班で行っており、上級生が下級生を指導している場面がたくさん見られました。自己肯定感が深まった運動会でした。

⑥これからも、大明小学校の伝統である＜学校応援団活動＞の充実をお願いしたいです。そして、地域と学校が連携し協力できる体制を作って、子供達の学力向上につなげていってほしいです。

貴重な御意見、ありがとうございました。

評価書作成責任者

関係者評価委員会委員長

石田敏江